



Discover Kitahiroshima

～北広島町の魅力、再発見～

北広島町教育委員会 千代田中央公民館
館長 辰川 勝則

プロローグ I

北広島町って？ (悪い感じの方...)

①どこにあるん？

広島県の北西部に位置し、中国山地の中央部に位置する地域。

②暑いところ？寒いところ？

夏は暑い、冬は寒い。四季折々...

③人口比較？

平成17年3月末 21,549人

平成26年3月末 19,685人 → 1,864人減

④少子高齢化？ (平成22年度調査)

年少人口12.0% (20年前からすると約7%減)

老年人口35.0% (20年前からすると約12%増)

⑤台所事情は？ (平成24年度決算)

実質公債費比率 17.5% 町債残高 189億円

ちなみに...平成18年の新聞で、

「広島県内23市町のうち、最高は北広島町の21.3%である」と報道された。



プロローグⅡ

北広島町って？ (いい感じの方...)

①有効求人倍率！ (平成25年度)

広島県1.1倍、にも関わらず北広島町2.2倍

②広島市中心部への通勤時間！

「たったの50分」 約1,000人が広島市へ通勤

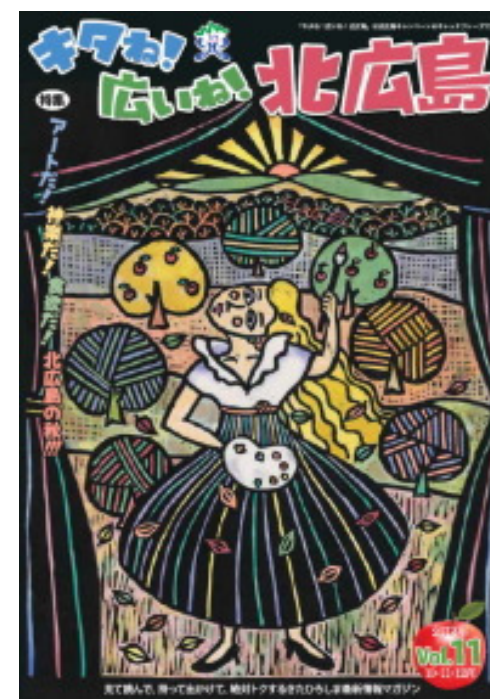
約2,000人が広島市から通勤

③観光・郷土芸能・レクリエーションの町！

古保利薬師(国重要文化財)、吉川氏城館跡(国指定史跡)、西中国山地国立公園の八幡湿原(湿原生植物の宝庫)、壬生の花田植え(ユネスコ世界無形文化遺産)、神楽(50団体以上)、日本最南端の本格的スキー場の集積地(6スキー場)、大朝のテングシデ群落(世界で唯一)、温泉(7か所)、どんぐり村(そば打ち体験)など

④「新田園文化のまち」宣言 北広島町！

「キタね！ 広いね！ 北広島」をキャッチコピーにして、大都市にはない価値と魅力、安全や安心、快適性を備えた住みよく豊かさが実感できる、まさに「グリーン・ツーリズム」が感じられる新しい田園文化のまち。



北広島町平成26年度施政方針

「明るく元気なまちづくり ～町民とともに！～」

平成26年3月4日 北広島町長 箕野 博司

施策の概要

- 1.町民の立場に立ち、町民と共に進めるまちづくり
- 2.地域の特性を生かした地域づくり
- 3.産業・経済の活性化
- 4.高齢者などに優しいまちづくり
- 5.若者・子育て世代に魅力的なまちづくり
- 6.郷土芸能・文化財・自然などを生かした観光の戦略化

若者 ← ターゲット

ふるさと教育の充実により、

「ふるさとの良さの発見」

「ふるさとへの愛着心の醸成」

「ふるさとに生きる意欲の喚起」

を目指し、結果的にふるさとで活躍してくれる
子どもたちの育成を図る。

若者＝高校生

なぜ高校生なのか？

進学や就職で社会へ旅立つ存在

どこの高校生なのか？

千代田高校

千代田高等学校を選んだ理由は？

加計高校芸北分校、新庄高校もある...

この事業で行うこと

千代田高校の2年生を対象に
北広島町内の
「ふるさと発見ツアー」を行う。

タイトル

「Discover Kitahiroshima」

～北広島町の魅力 再発見～

事業の概要 P1



①対象者(ツアーのお客さん)

- ・千代田高校2年生(2クラス・50名)

②企画者(ツーリスト)

- ・千代田高校2年生
(自薦・他薦・学校推薦で選ばれた生徒)
- ・町内から応募された大人

高校生と大人が協働で企画・運営



「異世代交流事業」でもある。

事業の概要 P2



③内容 たとえば・・・(たたき台として提案します。)

○地元の史跡を巡り、地域の発展の歴史と自分のルーツを探る。

「歴史探訪ツアー」

○地元に残る民俗芸能歴史や起源などを探り、現在まで継承されている神楽や花田植えなどを体験する。

「芸能発見ツアー」

○本町出身者が起業した企業を巡り、話を聞いたり作業を体験する。

「ワーキングスクールツアー」

○町内在住のいわゆるIターンで活躍されている方(神楽面づくり、刀匠、版画、陶芸、お菓子作りなど)を訪ね、北広島町の姿や魅力を教えてもらう。

「一日弟子入りツアー」

事業の概要 P3



④目標

- ・高校生が大人と協働してツアーの企画・運営をし、相互理解や親睦がこと。
- ・ツアーのお客さんである高校生たちが、興味を持って参加し、楽しんでくれること。

⑤目的

- ・高校生が北広島町への帰属意識を高め、愛着を持つこと。
- ・町内から応募した大人の企画員が千代田高校と高校生に対する理解と関心を深めること。

事業の概要 P4



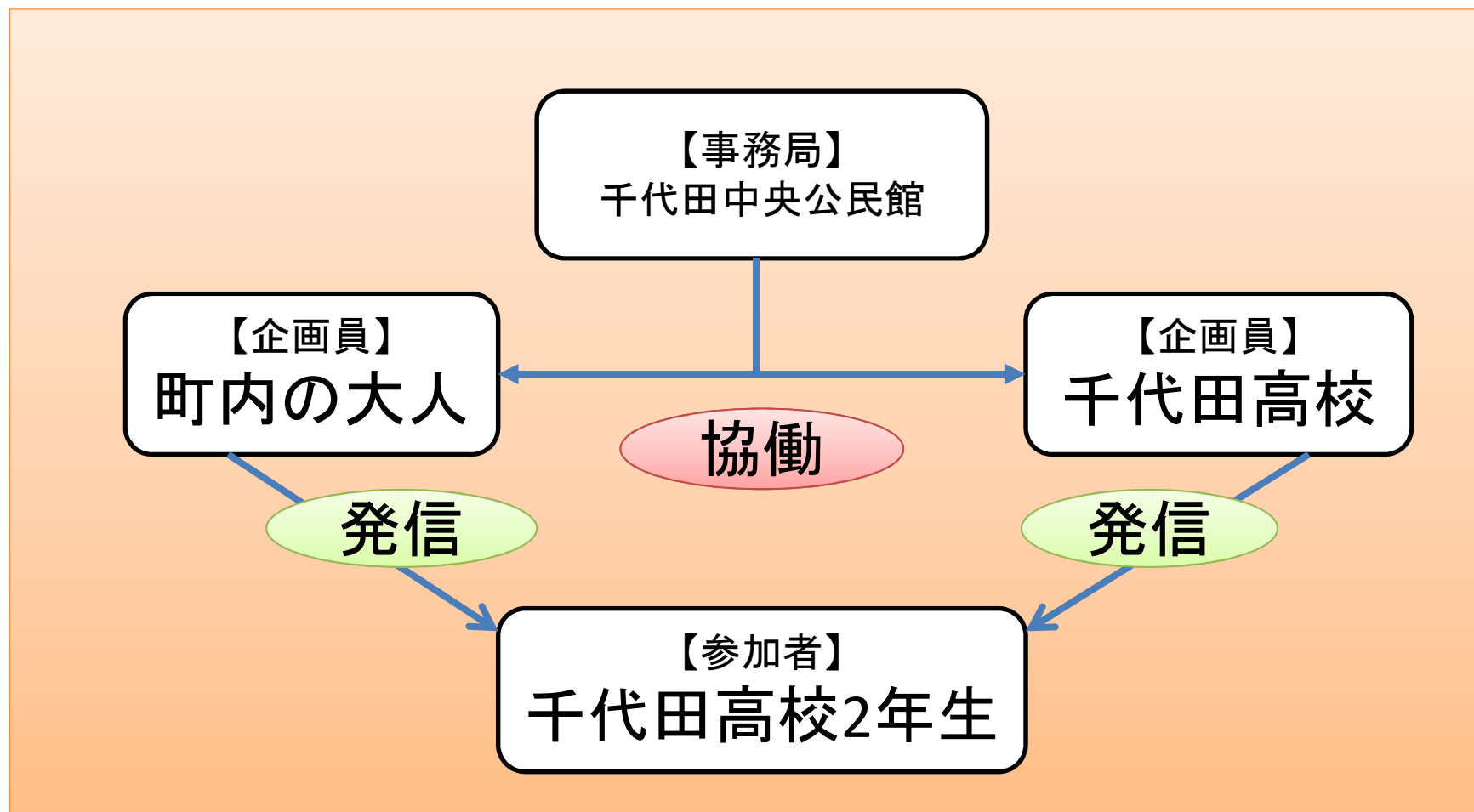
⑥波及性

1.企画段階から参加する高校生は、北広島町の過去・現在・未来を考える場となり、併せて自分自身の将来も重ね合わせて考えることができれば、北広島町の将来を担う存在となる。

2.帰属意識が向上することで定住意識が芽生える。

3.町外在住者となっても、将来「ふるさと納税」で北広島町を支援してくれる種まきとなる。

事業の実施体制



評価について

企画員全員が評価項目により評価し、全体で集約する。
評価基準は、大変満足・やや満足・やや不満・大変不満とする。

1.事業企画の側面

- ①企画意図(内容・目標・目的)はわかりやすく明確だったか？
- ②すべての参加者にとって魅力的なものだったか？
- ③大人の企画員と高校生企画員との協働関係は育まれたか？

2.プログラム構成的側面

- ①高校生の当事者意識を高め、やる気を引き出すものだったか？
- ②目的目標を達成するのにふさわしいものだったか？

3.プロデュース的側面

- ①学校、訪問先との連携・連絡は十分できていたか？
- ②当日までの準備期間、スケジュールは十分だったか？

4.当日運営的側面

- ①当日の運営はスムーズだったか？
- ②大人の企画員と高校生企画員とのコミュニケーションや、雰囲気作りはできたか？

5.成果的側面

- ①町内企画員と高校生企画員は満足感・達成感を得られたか？
- ②報告会は満足できたか？

教育長へ報告

事業終了後に全ての企画員で、教育長室を訪ねて成果報告をする。

ただの報告会ではつまらないから
小学校からの学校生活での不平・不満・要望を
ぶちまけてもいいかも...

(あくまで紳士的にお願いします)

ご清聴ありがとうございました。

